

7月22日：VN指数はわずかに下落

銀行株を含む大型株への利益確定圧力が高まり、VN指数は982.04ポイントで取引を終えた。

119銘柄の上昇に対し192銘柄が下落、VN指数は0.3ポイント（0.03%）下落して取引を終えた。出来高は1億6430万株で3.4%減少したが売買代金は4兆ドンと1.7%増加した。

相対取引で2900万株、1.04兆ドンほどが取り引きされた。FLCファロス建設（ROS）は730万株、2160億ドンが取り引きされた。

先週の上昇を受けて銀行株は今週初めに反落した。ベトコムバンク（VCB）は変わらずで終えたが、ベトナム産業貿易商業銀行（CTG）、テクコムバンク（TCB）、サコムバンク（STB）、VPバンク（VPB）、エクシムバンク（EIB）、HDバンク（HDB）などは値下がりをした。

7月19日にいくつかの証券会社が銀行株の好調が指数を押し上げ続け、VN指数は987-992ポイントの範囲まで上昇すると予想した。しかしながら、実際はそれとは正反対のことが起こった。

石油ガスセクターも弱含み、ペトロベトナムガス（GAS）は0.5%下落し105,500ドンで取引を終えた。ペトロベトナムドリリング（PVD）、PVIホールディングス（PVI）、ペトロベトナム溶液化学製品（PVC）はそれぞれ1.1%、1.4%、1.3%下落した。

ビナミルク（VNM）、ビンコムリテール（VRE）、ノブランド（NVL）などの大型株も上昇トレンドを継続できず、指数を押し下げることになった。

一方、ビンホームズ（VHM）、サイゴンビールアルコール飲料総公社（SAB）、マッサングループ（MSN）などは上昇したが指数を上昇させるほど押し上げることはできなかった。

ハノイ取引所のHNX指数は0.29%下落し106.76ポイントで取引を終えた。出来高は2324万株、売買代金は3428億ドンでそれぞれ15.3%、23.2%減少した。

ハノイ取引所ではサイゴンハノイ銀行（SHB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）はそれぞれ 1.4%、0.6%下落した。ビコストーン（VCS）、サイゴンハノイ証券（SHS）、TNG 貿易投資（TNG）は HNX 指数の下げを牽引した。

下落したものの、SHB、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ACB などは活発に取引され出来高がそれぞれ 355 万株、256 万株、190 万株だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。